

質実剛健

相馬北郷の武士

北郷宵乗行事次第概要

ひのえうまどし

令和八年 丙午歳 皐月二十三日 (土)

一、副大将出陣式 (於：永田陣屋・組頭以上)

【午前十時三十分頃】

○北郷騎馬武者が多田副大将へ謁見し、副軍師指揮のもと、出陣式典を行い、北郷陣屋へ向かって進軍する

○程なくして、総大将以下宇多郷騎馬武者が永田陣屋へ御到着
小休止後、隊列を整え、北郷陣屋へ向けて進軍する時を待つ

※ 注目点

副大将は、他の郷にはなく、唯一北郷に与えられた役付であることから、謁見の際の口上や作法のやりとりは、他の郷には見ることの出来ないものです

一、北郷本陣祭 (於：かしま交流センター・北郷陣屋)

【午前十一時四十分頃】

○北郷の騎馬武者総勢による陣立のもと、式典が行われる

※ 注目点

副大将・侍大将の訓示により、北郷全軍に対し、野馬追祭典の火蓋が切られる

一、御鳳輦・総大将御迎 (於：かしま交流センター 北郷陣屋)

【午後0時四十分頃】

○指揮軍者の指示により、騎馬武者が三度にわたり、永田陣屋における総大将の御出立の刻限を伺い、相馬中村神社御鳳輦並びに総大将の着陣を御迎えするものである

※ 注目点

緊張感が漂う中、伝令騎馬が逐次発せられ、伝令口上はもとより、騎馬武者が疾走する光景は、北郷(現南相馬市鹿島区)伝統の流儀であり、圧巻です

一、御発轡、御行列 (於：かしま交流センター 北郷陣屋)

【午後一時頃】

○宇多郷騎馬、北郷騎馬合流、総大将訓示の後、指揮軍者の差配により乗馬の螺が発せられ、隊列を整え、相馬中村神社御鳳輦並びに総大将を擁する、御行列が雲雀ヶ原祭場地向け、開始される

※ 注目点

整然と配備された騎馬武者の隊列には、大坪流乗馬術と厳格な役割が課せられている
先祖伝来の甲冑と旗指物には武家の歴史と伝統の重みを感じとれ、相馬中村神社御鳳輦には地域の繁栄と人々の安寧を願う祈りが込められている

一、神旗争奪戦 (桜平山グラウンド・江垂字桜平地内)

【午後二時三十分頃】

○行列終了後、北郷騎馬武者が会場に集結し、煙火十五発、相馬中村神社御神旗十五本の争奪戦を猛々しく展開する

一、「相馬流れ山踊り」の公開

○御行列に先立ち、本陣前及び沿道において、陣笠・陣羽織・袴姿の総勢五十五名による踊りが公開される

ひのえうまどし

令和八年 丙午歳 皐月二十四日 (日)

一、御上り馬行列

【午後三時頃】

○騎馬隊の帰還にあたり、御上り馬行列が行われ、副大将のお言葉を受け散し(解散)となる
※北郷騎馬のみの御上がり馬となります。相馬中村神社並びに宇多郷騎馬の参加はありません。

よって件の如し

◆北郷騎馬会並びに鹿島区野馬追執行委員会からのお願い

※観覧中は、水分補給を忘れずに行ってください
御行列中の道路横断は控えください
行事を滞りなく進めるために、皆様の御協力をお願いいたします

鹿島区野馬追執行委員会
相馬野馬追北郷騎馬会
TEL 0244-46-2110